

標準化・デジタルツール関連の取組

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介

EPA活用に向けた「3つの壁」を超える経済連携協定関連ツールとして
実証要素①～④の取組みを実施

実証要素① 業界マニュアル/② 標準フォーム



6業界・9業界団体

実証要素③ HS LAB



実証要素④ 実証事業版JAFTAS



事業：令和3年度補正
「経済連携協定関連ツール開発実証事業費補助金」
期間：令和4年3月28日～令和5年2月28日

EPAを最大限活用して、
関税削減メリットを得るには
3つの壁を超える必要がある



1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素①業界マニュアル/②標準フォーム

6業界・9業界団体の方々にご協力をいただき、
業界の課題や特徴を反映した業界マニュアルと業界横断の標準フォームを作成

概要編



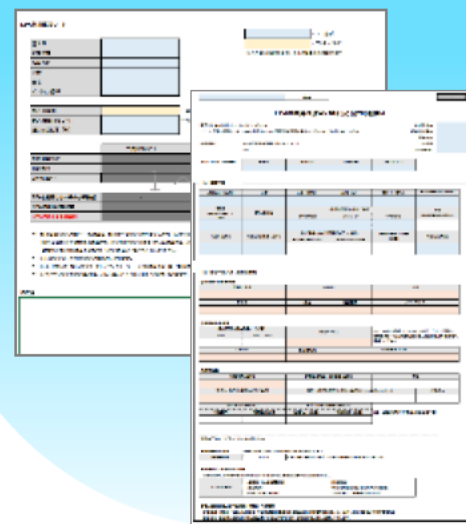
実務的な作業をしない方や
実務初心者の方々に、
業界のEPAの活用メリット・手続きの
大枠を把握できるように解説

実務者編



EPA活用までの基本的な作業手順
を全体フローにそって解説

標準フォーム



EPAの利活用を促進する上で、
輸出者側・生産者側双方の負担を
軽減するために、業界横断での
標準フォームの作成

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素①業界マニュアル/②標準フォーム

各業界におけるレベル別・立場別のマニュアルは、全17冊

業界	課題	業界マニュアル により期待される効果	マニュアルの種類		
				概要編	実務者編
鉄鋼	業界としての取り組みが進んでおり、 全般的によく利用されているが、より 標準化を進めることが業界全体での 効率を上げられる	デジタルツールを取り入れ た標準化フローへの理解 の共有	商社と高炉メーカーという商流が明確 商社は、同一の会社が輸出者にも中間 業者にも両方なる →商社編(輸出者・中間業者) 生産者編(高炉メーカー)を作成	—	商社編(輸出者・中間業者) 生産者編(高炉メーカー) 商社編 生産者編
印刷産業機械	全般的にEPAは輸入者の依頼により 受動的に使っている傾向にあり、ま だ積極的に活用しきれていない	受動的になっている要因 としての知識の壁を超え られること	知識の壁を越えやすいように、簡単に EPAのメリットや手続きの概要がわかるコン テンツが必要→概要編・立場別の実務 者編を作成	○	輸出者兼 生産者編 輸出者編 生産者編
繊維	中小へのEPA利用のための理解が 進んでいない	中小企業も含めたEPA 利用の促進	初心者が簡単にEPAのメリットや手 続きの概要がわかるコンテンツが必要 →概要編・立場別の実務者編を作 成	○	輸出者編 生産者編
紙パルプ	中小へのEPA利用のための理解が 進んでいない	中小企業も含めたEPA 利用の促進	初心者が簡単にEPAのメリットや手 続きの概要がわかるコンテンツが必要 →概要編・立場別の実務者編を作 成	○	輸出者編 生産者編
建設機械	大手を中心にEPAを利用しているも の、中小を中心に業界全体として のEPA利用のための理解が進んでい ない可能性が高い	中小企業も含めたEPA 利用の促進	初心者が簡単にEPAのメリットや手 続きの概要がわかるコンテンツが必要 →概要編・立場別の実務者編を作 成	○	輸出者兼 生産者編
工作機械	大手を中心にEPAを利用しているも の、中小を中心に業界全体として のEPA利用のための理解が進んでい ない可能性が高い	中小企業も含めたEPA 利用の促進	初心者が簡単にEPAのメリットや手 続きの概要がわかるコンテンツが必要 →概要編・立場別の実務者編を作 成	○	輸出者兼 生産者編

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素③HS LAB

各業界でのHSコードのデータセットを整理し、EPA特化のHSコード検索サイトを構築



FTA原産地証明に特化!

HSコードの情報提供サイト

経済産業省実証事業(2022/7/1~2023/2/28)

LAB No.1 HSコードの検索

業界用語での
「ふわっと検索」

Quick Search

業界別の情報提供ページ
(自動車/自動車部品、鉄鋼、繊維、紙パルプ、印刷産業機械)

Word Search

HSコードの検索エンジン (自動車/自動車部品、紙パルプ、印刷産業機械)
自動車業界用語、またはHS品目表の用語からHSコードの検索を実現

Tariff Search

HS品目表および注・解説データの閲覧ページ
日本が締結している協定の採用年版 (HS2002~HS2022) 分を掲載
HS番号を入力し検索することで、関税率表解説等の情報閲覧が可能

LAB No.2 HSコード設定サポート

専門家サポート

有識者によるHSコード分類サポート

企業から提供いただいた産品情報を元に、
有識者が分類の見解を回答するサービス

事例共有

有識者が回答した事例をHS LAB上で一般公開

重要サイトの
ブックマーク

LAB No.3 世界のHSサイト情報収集

世界の公的機関が提供するHSコード関連サイトへのURLをまとめて掲載

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素③HS LAB

業界の課題や特徴を踏まえ、業界の方にご協力いただき整理したデータを
HSコードの検索サイトに搭載

業界	課題	解決の方向性	HSLABでの対応	
自動車	構成部品も多く、分類における解釈も難しいことも多いことから、HSコード分類の工数負担がかなり重い	業界用語から紐づいてHSコードの候補が提示されること	JAFTASに蓄積された5万件以上の原産資格調査のデータと業界の方々からのデータ提供で業界用語とHSコードの紐づけを整理し、検索サイトを構築 (Quick/Word Search)	自動車業界でよく使われるJIS規格、JFS規格からのHSコード紐づけナビゲーターの一覧の公開 (Quick SearchよりPDFでの一覧表で閲覧可能)
鉄鋼	業界内：知識もあり特段課題なし 業界外：実証事業を通じて、鉄鋼を材料として使用する業界では分類が課題となっている認識をした	業界外に向けて、材質と形状から分類する方法の提示	鉄鋼連盟で作成いただいた材質と形状でHSコードを分類する一覧から検索サイトを構築 (Quick Search)	
印刷産業機械	知識の壁を超える上で、HSコードの分類が難解	業界用語から紐づいてHSコードの候補が提示されること	印刷産業機械工業会よりご提供いただいた業界用語とHSコードの一覧から検索サイトを構築 (Quick/Word Search)	
繊維	知識の壁を超える上で、HSコードの分類が難解	業界用語から紐づいてHSコードの候補が提示されること	化学繊維協会よりご提供いただいた業界用語とHSコードの一覧から検索サイトを構築 (Quick Search)	
紙パルプ	知識の壁を超える上で、HSコードの分類が難解	業界用語から紐づいてHSコードの候補が提示されること	紙類輸出組合よりご提供いただいた業界用語とHSコードの一覧から検索サイトを構築 (Quick/Word Search)	

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素③HS LAB

－ Quick Search －

業界別の情報提供ページ

業界用語をベースにHSコードの簡易検索を実現

鉄鋼ページの例

一覧表で4桁の特定をサポート!!
さらに6桁目以降の候補も表示!!

材質

形状

鋼板類：薄板、厚板、コイル

非合金鋼	ステンレス鋼	合金鋼
7200 鋼塊(非合金鋼)	鋼塊・半製品(ステンレス鋼)	7224 鋼塊・半製品(合金鋼)
7207 半製品(非合金鋼)		
7208 非合金鋼広幅熱延鋼板類(厚中板も含む)	広幅ステンレス鋼板類(ステンレス鋼も含む)	7225 合金鋼広幅熱延鋼板類(合金鋼厚中板も含む)
7210 非合金鋼広幅熱延鋼板類	7220 狭幅ステンレス鋼板類	7226 合金鋼広幅冷延鋼板類
7211 非合金鋼狭幅熱延鋼板類		
7212 非合金鋼狭幅冷延鋼板類(めっき鋼板)		
7213 非合金鋼狭幅表面処理鋼板類		
7214 鋼材(非合金鋼)	7222.10	

7220
狭幅ステンレス鋼板類

ステンレス鋼×薄板は、7220項。
リンクをクリックするとさらに6桁以降の分岐を確認可能!

ステンレス鋼	鋼板・600mm未満 (7220)	熱延鋼板	コイル板・切り板	板厚4.75mm以上	7220.11
				板厚4.75mm未満	7220.12
		冷延鋼板			7220.20
		表面処理鋼板(めっき鋼板)			7220.90

[詳しく見る](#)

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素③HS LAB

－Quick Search－

自動車・自動車部品ページの例

部品カテゴリー×名称でHSコードの絞り込みをサポート

自動車部品名から調べる

自動車業界用語を自動車の部品カテゴリー別に掲載しています。

各用語をクリックいただきますと、HSコードの候補が確認できます。

※実際のビジネスや原産地証明手続き、輸出入申告等においてHSコードを分類される際は、必ず当局へご確認ください。

※自動車業界用語は主に乗用車を対象としており貨物自動車や二輪車では異なるHSコードになることがあるためご注意ください。



エンジン関係

燃料装置

» [インジェクター](#)

» [デリバリーパイプ](#)

» [フュエルデリバリー](#)

» [燃料ポンプ](#)

» [キャニスタ](#)

» [バルブ](#)

» [フュエルパイプ](#)

» [噴射ポンプ](#)

» [キャニスター](#)

» [フューエルパイプ](#)

» [燃料パイプ](#)

» [燃料パイプ](#)

この欄の「バルブ」を選択した場合、エンジンに関するHSコード候補**2件**のみが表示される

類	項	号	号の規定
84	8409	840991	－ その他のもの － － ピストン式火花点火内燃機関に専ら又は主として使用するもの
		840999	－ その他のもの － － その他のもの

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素③HS LAB

－ Quick Search －

自動車業界でよく使われるJIS規格、JFS規格からのHSコード紐づけナビゲーターを鉄鋼連盟、自動車業界に作成いただき公開

参考資料

他業界様からのご要望を受け、一般社団法人日本鉄鋼連盟様にてJIS規格とHSコード、JFS規格とHSコードの対照表をご作成頂きました。

JIS規格とHSコードは、[こちら](#)

JFS規格とHSコードは、[こちら](#)

*1当資料に掲載している情報はあくまで参考情報ですので、原産地証明手続き等においてHSコードを分類される際は、輸入国税関にご確認頂くことを推奨いたします。

*2一般社団法人日本鉄鋼連盟および株式会社東京共同トレード・コンプライアンスは、当資料に掲載された情報を利用したことにとり生じたいかなる損害について一切責任を負いません。

*3当資料に含まれる情報は作成時点のものであり、予告なく変更や掲載を終了することがあります。

灰色の部分には規定のない合金元素を添加した場合に合金鋼になるもの、残り多くないものと思われる。

※本資料は他業界様のご要望を受け鉄鋼海外市場グループ事務局で整理したものです。実際のビジネスや原産地証明手続き・輸出入申告等で使用される際は必ず当局にご確認下さい。責任は負いかねます。

JIS種類の記号とHSコードの紐付けナビゲーター

JIS名称	JIS番号	種類の記号	可能性のあるHSコード	
			非合金鋼	合金鋼
一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101	鋼板・鋼帯の場合	広幅鉄板鋼板類7208.XX 鉄板鉄鋼板類7211.13～19	広幅鉄板鋼板類7225.30(コイル), 7225.40(厚板含む切板状) 鉄板鉄鋼板類7226.91
		棒鋼・平鋼の場合	7214.XX	7228.10～40
		バーンコイルの場合	7213.XX	7227.90
		形鋼の場合	7216.10～50	7228.70

自動車業界で通常使われている表記

HSコードの候補

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素③HS LAB

－ Word Search －

HSコードの検索エンジン

業界用語またはHS品目表の用語からHSコードの検索を実現

自動車・自動車部品ページの例

①協定を選択

②仕向国を選択

③用語を入力

④検索対象を選択

⑤検索ボタンをクリック

検索対象は以下のいずれかを選択
・自動車業界用語
・号の規定

「ワイヤーハーネス」「トランスミッション」等
品目表上で使用されていない言葉
でも検索可能！！

選択した協定のHS年版に
応じた、HSコードの候補が
表示されます！！

HS LAB
用語検索 協定を選択、用語を入力、検索対象を指定して「検索」をクリック

輸出統計品目表 (2012年版) における検索結果 (3件)

品名	HSコード	説明
ワイヤーハーネス	854430	点火用配線セットその他の配線セット（車両、航空機又は船舶に使用する種類のものに限る。）
ワイヤーハーネス	854442	その他の電気導体（使用電圧が1,000ボルト以下のものに限る。）
ワイヤーハーネス	854449	その他の電気導体（使用電圧が1,000ボルト以下のものに限る。）

自動車業界用語

- ケーブル
- ワイヤーハーネス
- サブリードワイヤー
- エクステンションワイヤーハーネス
- ケーブル
- ワイヤーハーネス
- アースリードワイヤー
- コード
- シグナルコード
- プラスリードワイヤー
- マイナスリードワイヤー
- ケーブル
- ワイヤーハーネス
- ダイアグノスティックフラッシュアダプタ
- テストハーネス

自動車業界用語
日本語…約1,600語
英語……約1,500語
搭載（2022年7月現在）

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 実証事業の成果物ご紹介 実証要素③HS LAB

－Tariff Search－

HS品目表および注・解説データの閲覧ページ

日本が締結している協定の採用年版（HS2002～HS2022）分を掲載

HS番号を入力し検索することで、関税率表解説等の情報閲覧が可能

①HSコードを入力し検索

HS LAB 経済産業省税関税務局 実証サイト		表題・規定のページ	
HS年版	2017	86	鉄道用又は軌道用の機関車及び車両並びにこれらの部分品、鉄道又は機械式交通信号用機器（電気機械式のものを含む。）
Q 類項号	900130	87	鉄道用及び軌道用以外の車両並びにその部分品及び附属品
表示		88	航空機及び宇宙飛行体並びにこれらの部分品
条件をリセット		89	船舶及び浮き構造物
		18部	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機の部分品及び附属品
		90	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機器及び医療用機器並びにこれらの部分品及び附属品
		9001	光ファイバー（束にしたものを含む。）、光ファイバーケーブル（第85.44項のものを除く。）、偏光材料製のシート及び板並びにレンズ（コンタクトレンズを含む。）、プリズム、鏡その他の光学用品（材料を問わないものとし、取り付けられたもの及び光学的に研磨していないガラス製のものを除く。）
		900110	－ 光ファイバー（束にしたものを含む。）及び光ファイバーケーブル
		900120	－ 偏光材料製のシート及び板
		900130	－ コンタクトレンズ
		900140	－ ガラス製の眼鏡用レンズ
		900150	－ その他の材料製の眼鏡用レンズ
		900190	－ その他のもの



注・解説の参照も可能。

②検索結果がハイライトで表示される

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 成果物のシェア①

EPAデジタルイノベーションフォーラム記事化（7月初旬、弊所ホームページに掲載）

EPA Digital Innovation Forum
デジタルイノベーションフォーラム

特別セッション
2023年2月20日(月)
10:00-12:00

経済産業省 経済政策課 部長 山田 久乃
EPA活用推進の取組：経済産業省 経済政策課 部長 山田 久乃
EPAデジタルツールのありべき方向性について：経済産業省 経済政策課 部長 山田 久乃
EPA活用推進の取組：経済産業省 経済政策課 部長 山田 久乃
EPA活用推進の取組：経済産業省 経済政策課 部長 山田 久乃

EPA Digital Innovation Forum
活用体制事例

株式会社デンソー 生産部長 山下 久乃 × エビエ株式会社 代表取締役 河本 源沙

JAF-TAS
誕生秘話と今後の展開

トヨタ自動車株式会社 森脇 英直 氏 × 株式会社TTT 河田 祥 氏

HSLAB
の開発経緯

株式会社アイシン 清水 一 氏 × 日本製鋼所 加納 呼重 氏

EPA Digital Innovation Forum
業界横断Q&A

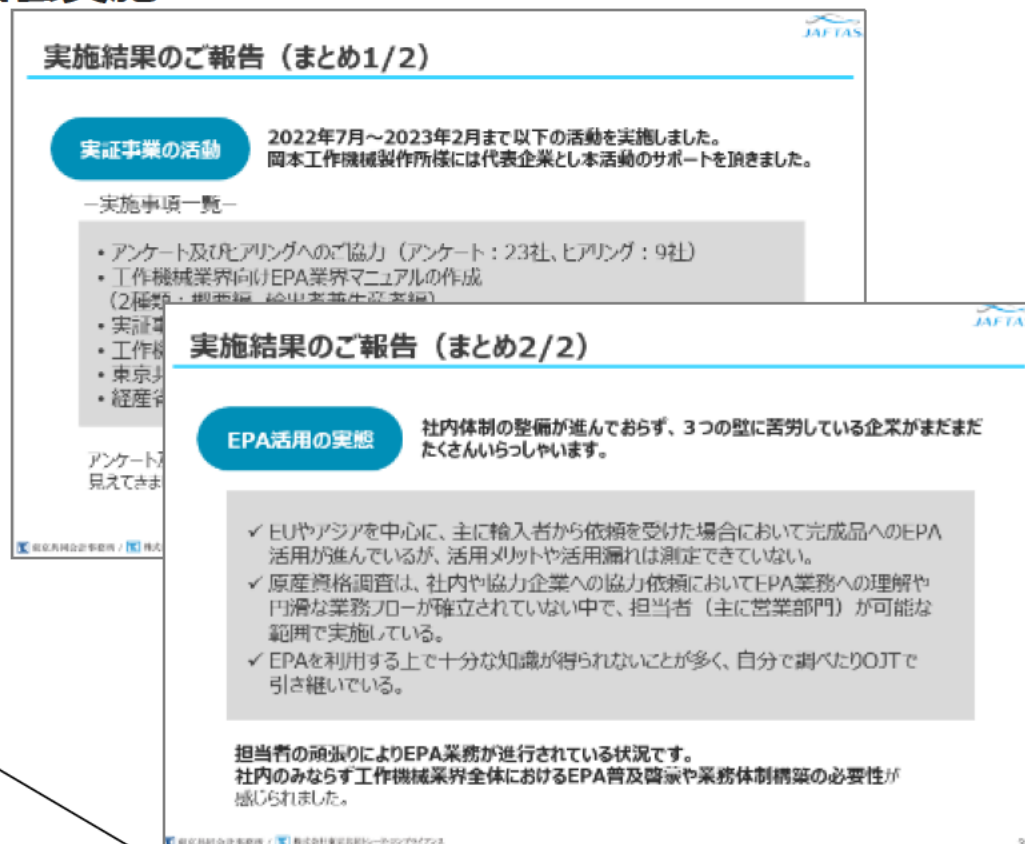
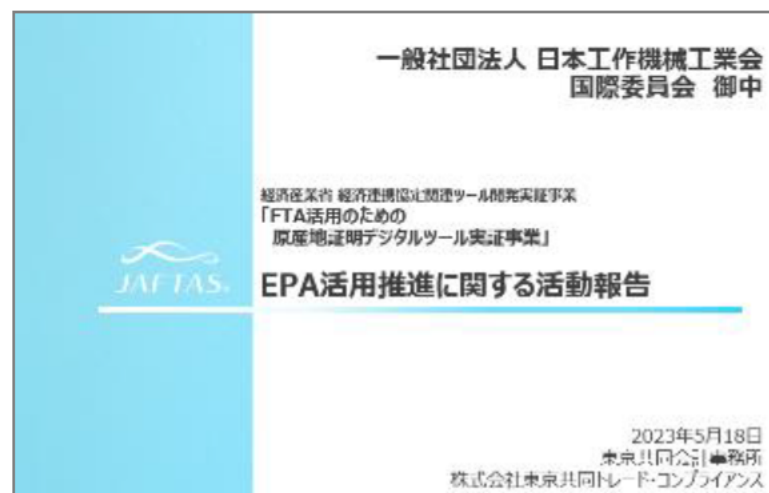
業界単位の先進的な取組

2023年2月開催フォーラムでは、経済産業省さま並びに業界団体さま、企業の皆さまには多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 成果物のシェア②

日本工作機械工業会様 国際委員会にて報告会実施



実証事業期間中のアンケート・ヒアリングを通じて見えてきた
工作機械業界のEPA活用の実態に関するご報告と、
工作機械業界向けEPAマニュアルの紹介をさせていただきました。

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 成果物のシェア③

各業界団体様のHPにて業界マニュアル紹介

印刷産業機械



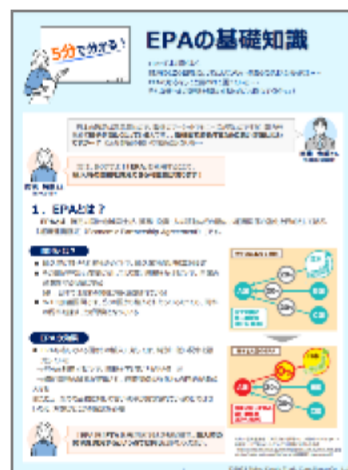
- ・概要編
- ・実務者（輸出者兼生産者）編
- ・実務者（輸出者）編
- ・実務者（生産者）編
- ・サプライヤー編
- ・標準フォーム
- ・マニュアル紹介セミナー（2022年12月16日開催）動画
- ・日本印刷産業機械工業会様と協同で作成しました（工業会ホームページでも紹介されています）

紙パルプ



- ・概要編
- ・実務者（輸出者）編
- ・実務者（生産者）編
- ・サプライヤー編
- ・標準フォーム
- ・日本紙類輸出入組合様と協同で作成しました（組合ホームページでも紹介されています）

「5分でわかるEPA」社内用アレンジ



非常に素晴らしい資料でしたので、社内（今から協定利用を検討する海外法人向け）の説明時に使用させていただき、当資料による説明を通じて、社内活性化はもとより世界の経済発展に貢献できるんだ！というPassionをもって対応させていただきます。（化学品メーカー様）

通関士セミナーにて紹介



(参考) 企業事例のご紹介

● ヤンマーグループ様 JAFTAS導入

EPA活用効果の最大化に向けて「3つの壁」をJAFTAS導入とEPA専門家サポートで解決へ

知識の壁

- ・なんとなく資料を見ながら対応している
- ・品目別原産地規則の解読に苦労した
- ・根拠書類の作成に苦労した

社内の壁

- ・誰に生産情報を聞いたらいいかわからない
- ・変更点に関する情報が社内から円滑に得られない

協力企業の壁

- ・協力企業による証明の品質管理が難しい
- ・営業部から協力企業へ連絡を入れにくい

JAFTAS®とFTA専門家が
3つの壁を超えるサポート



ヒアリング/現状調査



JAFTAS導入

- ・各グループ会社の現状把握
- ・EPA基礎知識の底上げ
- ・業務分担/フローの整理
- ・サプライヤーとの協力関係の基盤構築

EPA活用支援コンサルティング

各グループ会社のEPA
活用体制構築に向けた
基盤を整えることができた

1. 令和4年度実証事業の最終報告

● 成果物を活用した業界の取組（ベスプラ） 日本建設機械工業会様EPA WG設立

建機工 国際委員会における協議の結果、「EPA活用推進WG」（仮）設立

WG活動の目標

EPA活用効果最大化に向けて、二つの側面からEPA利用の現状把握をすること

- ①組織体制、業務フローにおける課題の見える化
- ②効果額（利用率）の見える化

WG活動内容

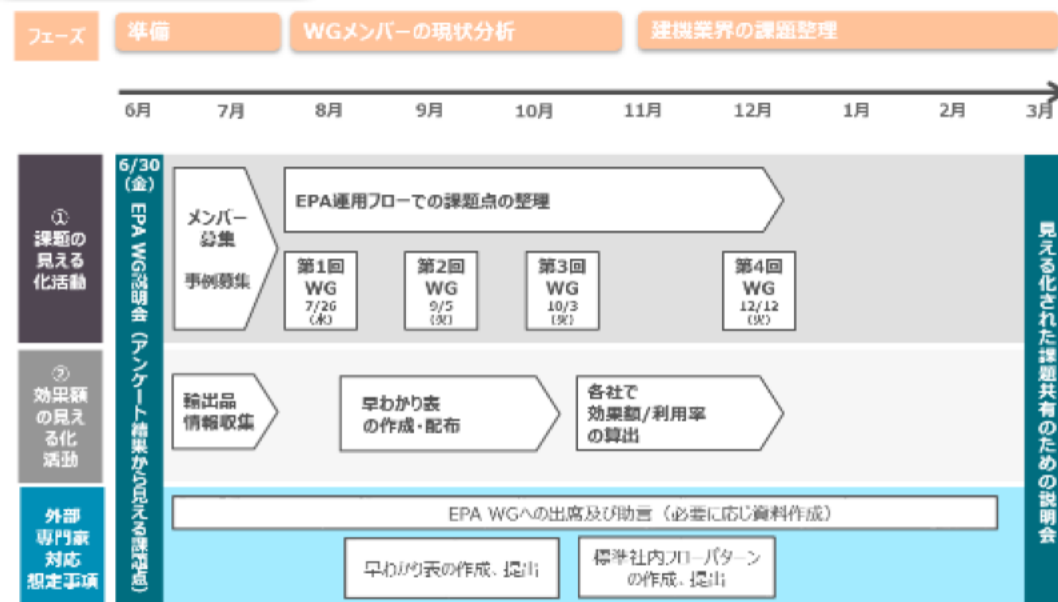
①課題の見える化活動

3つの壁それぞれについて改善事例を会員企業に発表いただき、その事例も踏まえながら各社の課題点を協議。課題点の整理をしながら、各社での課題の見える化を推進。

②効果額の見える化活動

各社で実際の利活用率を把握できるように、効果額を算出する上では早見表を作成し、各社での効果額の見える化を推進する。

スケジュール（案）



2. 日商とのシステム連携

JCCI-JAFTAS連携プロジェクト

2024年2月目標



スマートEPA!

- 官民連携プラットフォームの実現へ -

1. 公的機関とのデータ連携
2. EPA原産地証明のデジタルトランスフォーメーション
3. デジタルエコノミーによる新たな社会価値の創造



2. 日商とのシステム連携

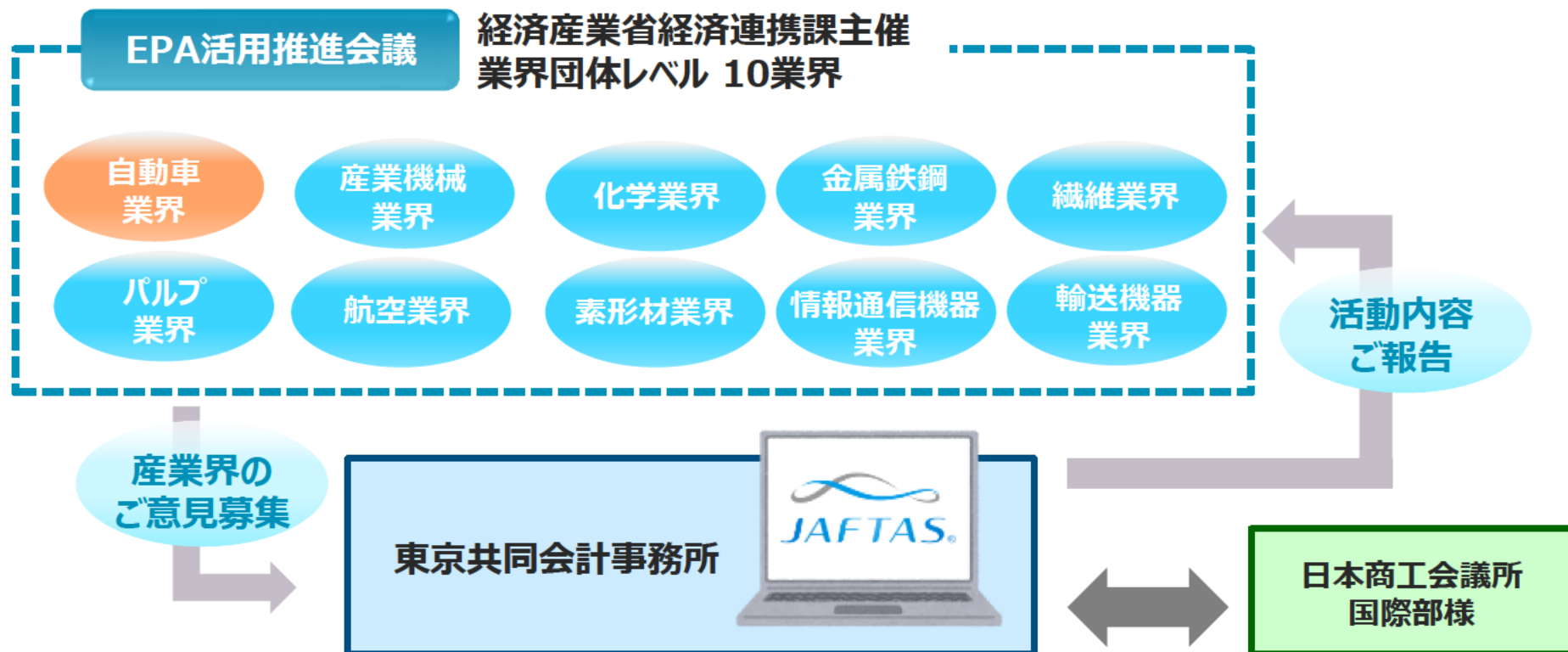
● JCCI-JAFTAS連携プロジェクト 実施概要

事業名称	EPA原産地証明PF「JAFTAS®」と日本商工会議所「第一種特定原産地証明書発給システム」の接続事業
実施目的	日本国内の輸出者/生産者が行う原産性調査の工数約3割の削減、並びに日本商工会議所における審査業務の工数削減および円滑化を実現し、EPAを活用した輸出拡大に貢献する。
実施内容	JAFTAS®へ新規機能を追加し、日本商工会議所の発給システムの①原産品判定依頼書入力、②同意通知書入力との連携を実現する。
実施効果	共通プラットフォームとEPA専門家による利用者のEPA業務の大幅な改善 ①システム連携による利用者の業務品質と業務効率の向上 ②JAFTASサポートデスクによる利用者サポート範囲の拡大 ③JCCIの審査業務の効率化
実施期間	2023年5月～2024年2月
実施体制	東京共同会計事務所/東京共同トレード・コンプライアンス 協力：日本商工会議所
実施予算	令和4年度補正予算 貿易投資促進事業補助金(経産省)申請中 JAFTAS利用企業のご協力

2. 日商とのシステム連携

● JCCI-JAFTAS連携プロジェクト 各産業界からの意見集約

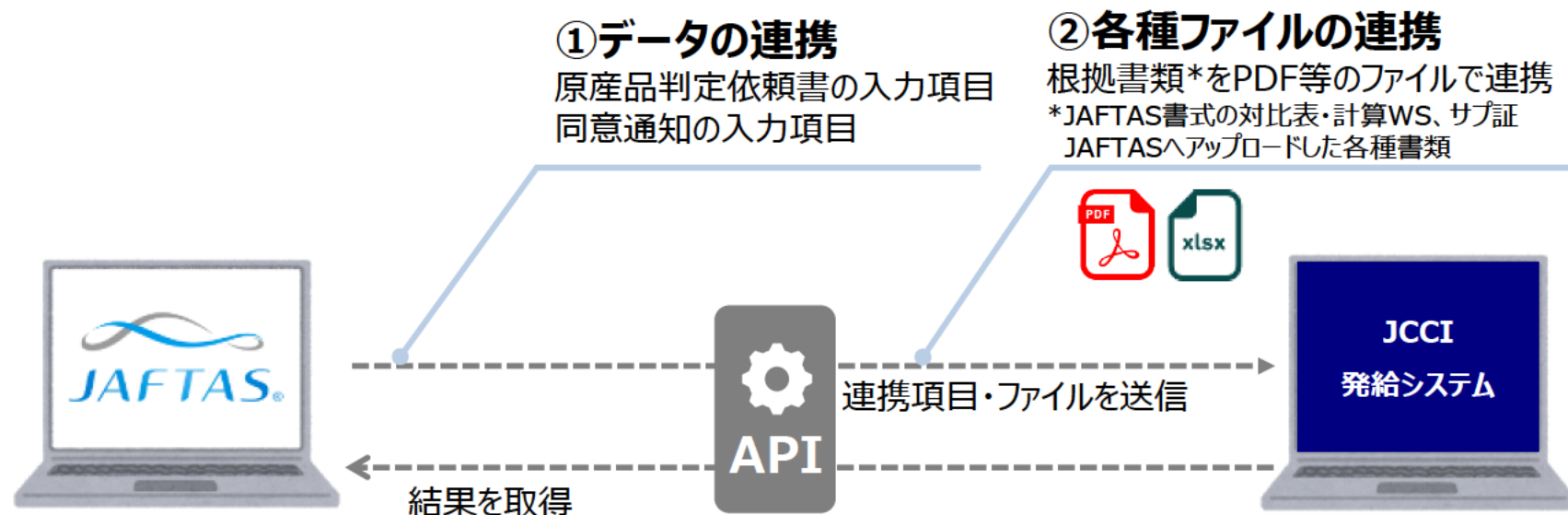
EPA活用推進会議のAGENDAへ上程し、多くの産業界からの意見集約の下、PJを推進して参ります。



JAFTAS検討会（自動車業界）にて、コアな業務要件の定義を行った上で、他の産業界へ意見集約を予定。本日ご意見のある方は自由討議の際に是非コメントをお願いします。

2. 日商とのシステム連携

● JCCI-JAFTAS連携プロジェクト 連携イメージ



利用者のメリット

- ・2画面ログイン不要により作業工数を削減
- ・調査結果の自動連携により転記ミスなし
- ・根拠書類も自動連携のため書類取り違えリスクなし

判定事務所のメリット

- ・PSRやHS年版などJAFTASで品質確保された情報に関する審査業務の効率化
- ・審査のリードタイム短縮



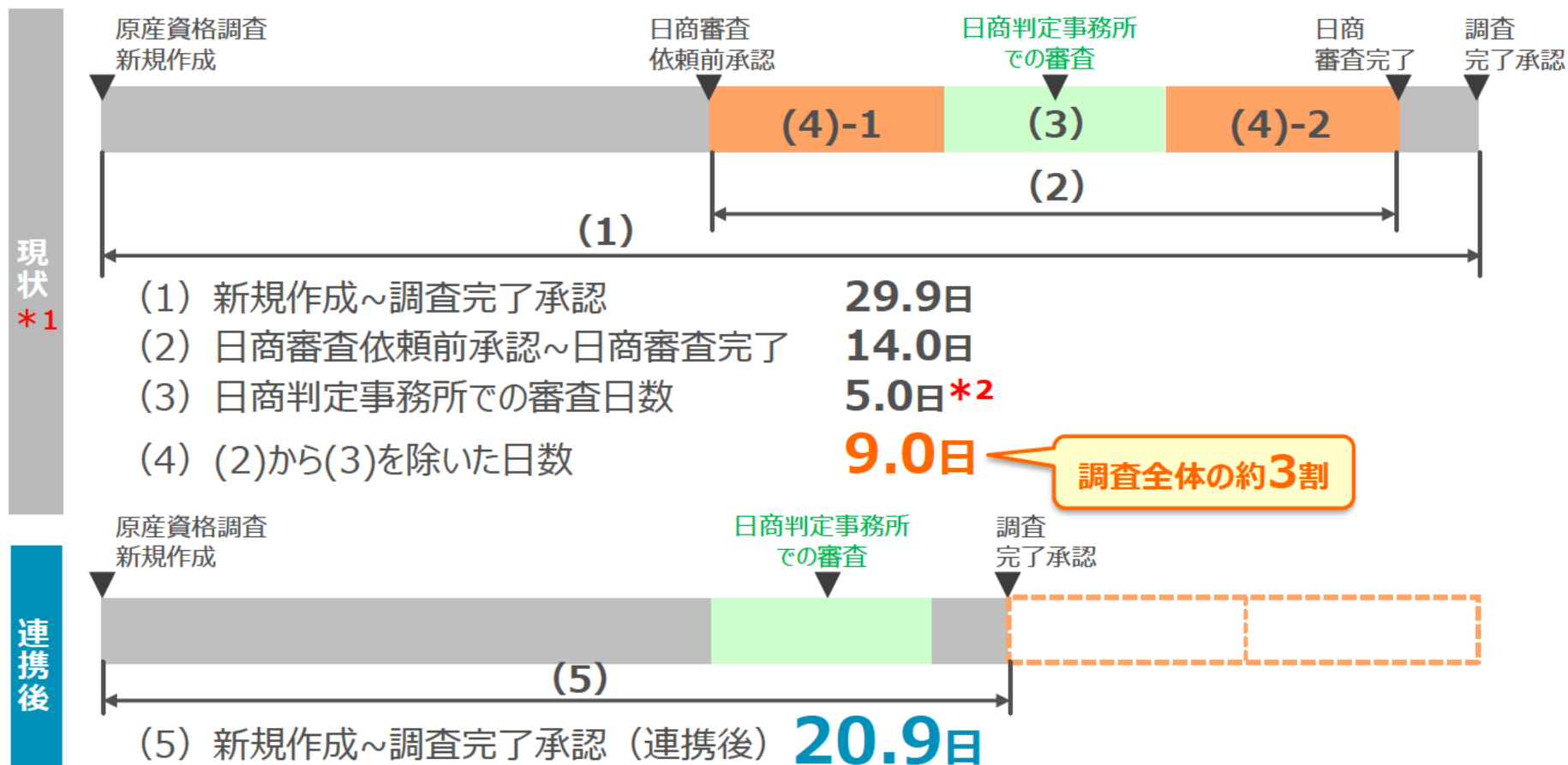
令和4年度補正 貿易投資促進事業費補助金
(貿易プラットフォーム活用による貿易手続きデジタル化推進事業)
ステータス：申請中
結果発表：2023年7月（予定）

2. 日商とのシステム連携

● JCCI-JAFTAS連携プロジェクト 実施効果

利用者の効果

調査全体の約3割（以下、(4)の日数）を削減できる見込み



*1：JAFTAS稼働開始（2020年9月）～現在（2023年4月）までに、JAFTAS契約利用者が実施した第三者証明制度の協定、かつ荷姿が輸出品である原産資格調査の平均リードタイムを算出した。

*2：日本商工会議所は原産品判定依頼の受付後、原則3営業日後までに審査結果を通知することとしている。土日が含まれることを考慮し、3営業日に土日の2日分を足した計5日を審査日数として上記算出を行った。

2. 日商とのシステム連携

● JCCI-JAFTAS連携プロジェクト 実施効果

判定事務所の効果

日商判定事務所においても審査効率の向上を実現すべく、以下の項目について日商と協議を開始

- JAFTASと連携することで、判定事務所の審査効率を上げられるか
- 日商が判定依頼者に差戻しするケースがどの程度の割合か
- 連携機能構築により、転記ミス、誤謬をなくしリードタイム短縮につながるか



日商判定事務所での審査効率を向上させることができれば、前頁「(3)日商判定事務所での審査日数」が短縮され、結果的にJAFTAS利用者の原産資格調査リードタイムの更なる短縮が見込まれる。

3. トレードフルツ（TW）と特定原産地証明書発給システムとの連携（検討中）

- TWと日本商工会議所が運営する「特定原産地証明書発給システム」を連携し、デジタルでの発給申請・証明書の取得を可能とします。
- 本連携は、各国税関の間で進めるGtoG連携ではなく、BtoB連携を対象とします。

【ユーザメリット】

- ① TWは、TWデータを活用して発給申請の情報を作成できるので、効率的な発給申請が可能です。
- ② TWユーザは、TW-API経由で申請情報を連携することが可能となり、自社システムのデータを活用した効率的な発給申請が可能です。

